



# 明和新聞

明和記念病院

〒870-0165  
大分市明野北1丁目2番17号  
TEL:097(573)1000

第24号  
～夏号～

## 医療法人ライフサポートの ホームページ開設準備について

医事課 原 利喜雄

最近ではインターネットの普及に伴い、自宅にしながら様々な情報を得ることが、簡単な世の中になってまいりました。お店探し、地図、会社の概要、ショッピング、映画鑑賞、その他疑問に思ったこともインターネットで検索すれば簡単に莫大な量の情報を得ることができます。医療機関も例外ではありません。病院の所在地や特徴、診療科目・診療時間等々…、を知ることができます。正直私もこの病院に就職するにあたり、当病院のホームページを探してみました。しかし、残念ながらライフサポートのホームページはありませんでした。

そして入職後、伊藤理事長よりホームページ作成の指示があり、当法人でもホームページ開設への準備が始まることとなりました。日頃よりインターネットを利用して様々なホームページを見て情報を得ていますが、いざ自分がそのホームページを作成するとなるとホームページの仕組みや作成手順の知識をまずは得なければなりません。また、誰に？何を？何のために？どのような形で載せるか？とさまざまな事が思い巡って来ました。それを取捨選択しながら、ライフサポートからも、さまざまな情報をリアルタイムに発信していきたいと考えています。そのためには、まず情報収集とアイデアだと考えます。職員のみならずにもご協力をいただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

ホームページは開いてもらって初めて情報を伝えることができます。多くの方に開いていただき、ライフサポートの事業内容・充実したサービス内容・理念・診療科目・診療時間等、当院や当院の特色を知っていただくことにより、多くの外来受診・入院療養又は介護サービスの利用につながりますし、また、人材の雇用にもつながることがあると思います。みなさまの期待に沿えるよう、来るべき公開を目指して準備をしています。



医療法人ライフサポートの  
ホームページのイメージ

## 『私のケアを語る』

3病棟 戸澤 英子

K氏は肺癌で脳転移から症状改善が困難であり、緩和ケアのできる病院へ入院されていました。

前院では傾眠傾向にあり、食欲低下・ADLの低下・再三の転倒がありました。キーパーソンの母の「自宅から近い病院」という希望により当院に転院となりました。

入院後、入眠剤（内服点滴）を中止しました。するとK氏のADLは回復し、食事は自立摂取し、トイレまで歩行できるようになりました。転倒予防のため詰所から見える所にベッドを置き、30分毎の訪室・声かけ等を行いました。その結果、転倒もなく会話も弾むようになりました。

花好きとの情報を得て、ある時は浴槽に花びらを浮かせてみました。大好きな化粧やマニキュアも勧めました。この時々K氏の素晴らしい笑顔は忘れる事ができません。そんなある日、外出許可が出て、自宅で有意義な時間を過ごすことができました。その後は、個室にお母様のベッドも準備し共に過ごせるように工夫したり、母親としての辛い気持ちを受け止める事にも努めました。

以上のように、私達は当院の理念である「その人らしさ」「個性」を重視し、ターミナル看護を行いました。今回は時間の質の大切さを強く感じ、また看護師が病状を理解し、安全・安楽に対する技術や信頼を得るための共感・受容といったコミュニケーション技術を身に付けていく事が望ましく、ただ優しく親切であるだけではターミナルケアではないという事を学びました。

終末期の患者様にとって人生を締めくくる最後の過程の中で、死に向かい合う恐怖感・死に逝く過程を医学者の思う様に方向付けるのではないという事、そしてそれをしてはならないという事が理解出来たように思えます。患者様と家族に向かい合い学んだ事を今後のケアに活かして行きたいと思っています。

明和俳句  
母の日の手の平の味塩結び  
蛍さんなぜにそんなに身をこがす



山村 哲雄

## サービス向上委員会

サービス向上委員 宮 成 健 二

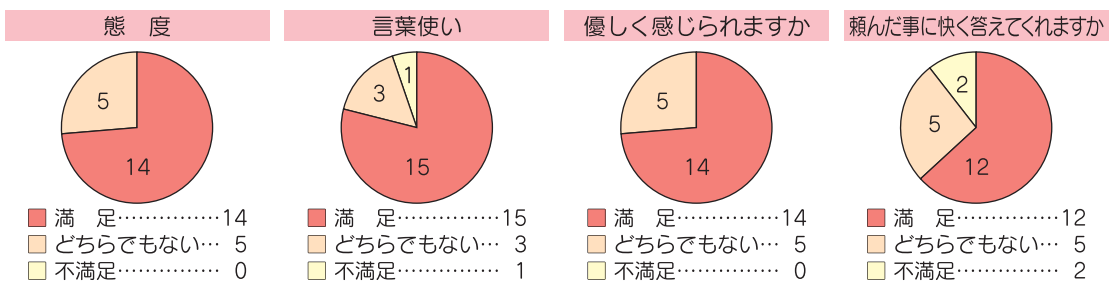
サービス向上委員会では、病院内のサービスのあり方を考え直し全ての質の改善に努めることについて、話し合っています。

「財」とは、人間のニーズ、欲求を満足させる物的手段をいい、無形の財を「サービス」といいます。医療サービスを行っている我々は大切な「人財」です。組織の継続の為には、患者・職員・病院が満足することを目的と考えて満足度アンケートを実施しています。満足度アンケートにより、患者様・利用者様・ご家族の不満や疑問に耳を傾けることで、改善策を考え、より細やかなサービスの提供に努めて快適な療養環境・医療サービスの向上・職場環境作りを行っています。

又、10月には地域への繋がりを広げる事を目的として「明和祭」を開催しています。年々来院する人が増え、当院の特色が地域へ広がり、地域に密着したサービスを出来る様になってきたと、思います。

現代は、社会的にサービスが求められる時代です。どんな些細な事にも心配りが必要です。一人一人が日々学び、気持ちを込めて業務に邁進出来るように、委員会では常に話し合っています。

### 職員の対応はどうですか？



### 患者様・ご家族様のご意見・希望

- ・ 職員の態度の良さが和みます。
- ・ 日々気持ち良くして下さって感謝の言葉しかありません。

- ・ 「ちょっと待って」が多い。
- ・ 気持ちの良い挨拶をして欲しい。
- ・ 返答がすぐに、返ってこない。
- ・ 職員の声かけが不満に感じます。(仕事として接している。)

## 業務改善エコへの取り組み

### — エコへの取り組み —

省エネ委員 後藤 和 貴

本年度は「5S活動から業務改善へ」をスローガンに各部署でそれぞれ目標を立て取り組んでいます。4病棟では、5S活動に取り組む事により業務改善ができスムーズに仕事が行える様に頑張っています。

例えば

- ① 朝の5分間清掃は、貴重な時間を無駄にする事はないよう、タイマーを掛け申し送り後一斉に取り掛かる
- ② 「5Sチェックリスト」の作成をし、スタッフ休憩室に貼り整理・整頓ゴミの分別等行った事を、自分で「正」の字を書きこんでいき4ヶ月毎に評価する
- ③ エコへの取り組みとして、洗面所の水量調節、電気の必要の無い所は出来るだけ消す
- ④ 物品等は所定の位置が解りやすいように黄色いテープで印をして使用後必ず所定に戻す
- ⑤ 「業務改善できる事」「無駄と思われる事」等スタッフの意見をいつでも聞ける様、休憩室に意見を貼るボードを設置する

以上の事からを実施する事により、スタッフの5Sへの意識づけが出来、その結果として「働き易い職場環境」になっていけたらと思います。

この事がスタッフに定着していけば4病棟の病棟目標でもある「残業を無くして定時に仕事が終わる事」につながっていくと思います。

## デイケアでの「良いことノート」の紹介

デイケア 領家 明美

デイケアでは、日々、ケアの中で、利用者様、御家族から嬉しかった思いや、喜ばれた声を1冊のノートに残しています。

これは「良いことノート」という名称で、日々の振り返りとして使っています。

ここで「良いことノート」の一部をそのまま紹介させていただきます。

『Aさんはリハビリ病院を退院され、すぐに当院のデイケアをご利用されました。肩の痛みが強く、関節の動きが良くないAさんは、これまで寝たまま入浴の出来る機械浴をされていました。私達は支えがあれば座位保持が可能なので、一般の浴槽でゆっくり入れないだろうかと考えました。衣服の着脱は、肩の痛みのない範囲の可動域として、移動は訪問入浴用のネットを使用し、一人用の浴槽に入っていました。すると、Aさんから「肩の痛みも全然なく着脱もうまい、全部良かった。さすがプロ。だ、今までまともに風呂に入らなかったで、久しぶりに風呂に入った気がした。」と、大変喜んで頂きました。』

『利用者Bさんのご家族から「通所当時は慣れてくれるか心配でしたが、今ではお迎えに来てくれるのを待って喜んで出かけていきます。足の動きも良くなってきました。私も安心して自分の時間が持てる様になりました。」と連絡ノートに書いてくださいました。私達は利用者様、御家族の喜んでいただける声を励みに頑張っています。』

毎月5件以上を目標にして、今後より一層、信頼と満足度の高いサービスの提供が出来る様努力していきたくと思っています。



### 【端午の節句の語源・由来】

リハビリ 川上 佳織

端午の節句の「端」は「初め」という意味で、「午」は「五」に通じ、「端午」で「五月初めの五日」という意味になる。

端午の節句の風習の由来は、中国東周時代の政治家「くつげん原（くつげん）」を供養するために始まり、三国志の時代に日本へ伝わってきたとされている。

古く端午の節句は、邪気をはらおうために、しょうぶ菖蒲やよもぎ蓬を軒にさす風習があった。この風習はやや変化し、現代ではちまき粽やかしわもち柏餅を食べたり、菖蒲湯をたてたりしている。

江戸時代以降、端午の節句は「男子の節句」とされ、武家人形や刀などを飾り、鯉のぼりを立てるようになった。五月五日が「こどもの日」に制定されたのは、祝日法が公布・施行された1948年のことである。

## お花見会

4月1日



アクティビティ委員 船戸 裕臣  
当日は風が強かった為に、急遽1階フロアでのお花見会となりましたが、患者さん達は『ボランティアの方の演奏が良く聴こえた』と喜んでいました。『お弁当だけは桜の下で食べたい』と意気込んで外に出られた患者さんもありましたが、さすがに風が強くて寒かったようで、すぐ戻られてしまいました。

## 編集局だよ

新聞委員になって1年が経ちました。メンバーについていくのが精一杯でした。今年、院内新聞の目的としているスタッフのがんばりを伝えたいと思います。そして、がんばりを共有していただけたらと考えています。 佐藤 久美子

## 私の履歴書

医師 森崎 潤一

昭和34年長崎大学医学部を卒業しました。

別府国立病院でインターン後、先輩を頼って東京の病院で働きながら勉強させて頂きました。

昭和41年古里の佐伯駅近くで、小児科を主体の診療所を開設しました。約28年間開設しましたが、別の生き方をしてみたい（我儘（わがまま）でしたが）との思いが募り全てを売って廃設しました。患者さん達や職員に迷惑かけたのが一番の辛い事でした。

大分市に住居を移し、妻とヨーロッパを主にあちこち旅をしました。開業医の多忙な女房の役割と、長く務めた民生委員で苦勞させた感謝の気持ちもありました。

その後、大分のある病院に誘われて今年3月まで約17年間働きました。

物忘れなど老齢化の自覚や知識の枯渇を感じまして医師を引退しようと考えていましたが、当院院長の勧めにより4月13日付で働かせて頂くことになりました。

院長、衛藤先生や若い優秀な先生方に教を頂きながら何とか仕事が出来様に努力してみようと考えています。

## 平野道也さんにインタビューしました。

リハビリ 高橋 直之

明和記念病院の外の花や木の手入れをして頂いている平野さんに今回インタビューしてみました。

現在平野さんはハヤシグリーンテクノに入社して8年目で、主に造園工事で樹木などの作業を行なっています。明和記念病院以外では岡病院や豊寿苑、オアシスの7階の結婚式場の屋上庭園や外回りの樹木等の年間管理も行なっています。

明和記念病院の印象は病院内外ともにきれいで、とても明るい雰囲気のある病院だと思ったそうで、ハーブ類を中心とした季節感あふれた植栽管理と、病院の方々を利用しやすく癒される緑づくりに特に力を入れてくれています。苦勞しているところは病院の敷地がとても広く、1人での作業が多いため細かいところまで目が行き届かないことだそうです。今後は明るくキレイで緑にいっぱい溢れた病院だと言われるようにしていきたいとのことでした。

平野さん大変なことが多いと思いますがこれからもお仕事頑張ってください。



## クロスワードパズル



1	6		
2		7	A 8
3			
4		B	
		5	C
A	B	C	

ヨロのナギ

1. 仕事でも薦めるにも〇〇が肝心
2. 結婚前には〇〇〇〇を大きく開いて見よ。結婚してからは片目を閉じよ。
3. 毎日5分間で各部屋を綺麗にしましょう。〇〇〇〇活動。
4. 昨日の前の日は？
5. 「永遠」と書いて「えいえん」と「〇〇」と読みます。

タテのナギ

1. これを飲んでお腹の調子を整えましょう。
6. 短期入所生活介護の別名。〇〇〇〇ステイ。
7. 「待つ」は英語でなんと？
8. これが無いと手術ができません。

